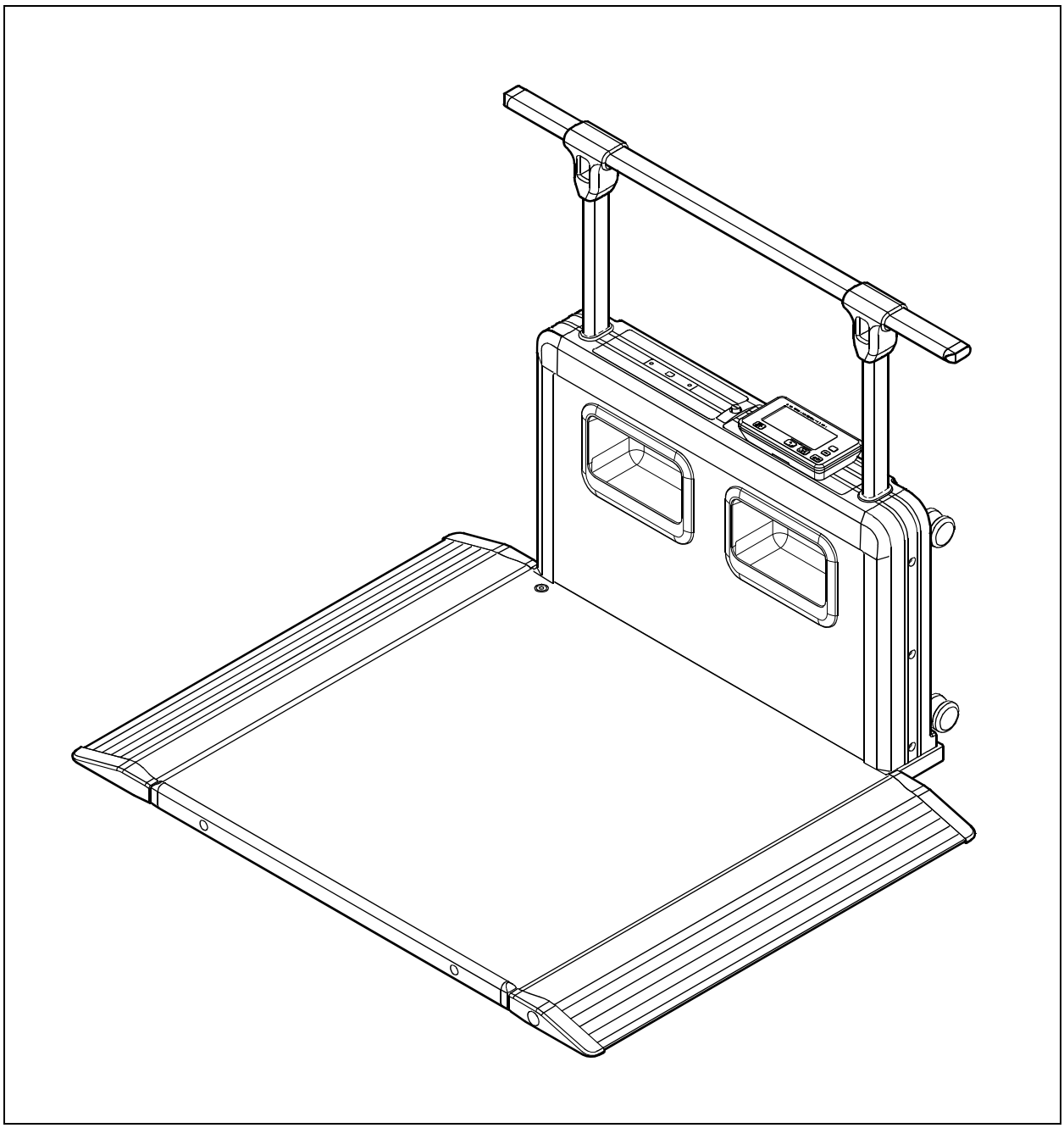
AD-6108 / AD-6108H

バリアフリースケール（移動式）（3 級）

取扱説明書



A&D Medical

1WMPD4003098

1503

ご注意

（1）　本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

（2）　本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

（3）　本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

（4）　当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2015 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

□ 本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△ 記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△ の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠ 記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠ の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	● 記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、● の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

バリアフリースケール（AD-6108/H）を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を充分に理解した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
	□下記の使用環境、保管環境でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 本器および被測定者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度+5°C～+35°C、湿度 75 %RH 以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度-10°C～+50°C、湿度 95 %RH 以下の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	□製品の設置・移動時は、下記に注意してください。 ■ 本器を移動する時は、手すりを完全に収納してから移動してください。 手すりの破損または壁や柱等の破損の原因、けがの原因になります。 ■ 本器を運搬用台車として使用しないでください。 故障の原因になります。 ■ 屋外や平坦でない床面ではキャスターを使用して移動しないでください。 故障の原因になります。 移動の際は屋内の平坦な床面でのみキャスターを使用してください。 ■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。 故障の原因となります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。 故障の原因となります。 ■ 本器を移動する時は、AC アダプタやケーブル類を本体より取り外してから移動してください。 ■ キャスターを使用して移動できる状態で保管はしないでください。 転倒によるけがや破損、故障の原因となります。
	■ 本器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠警告	
	■ 電源電圧は必ず交流 100 V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。

⚠注意	
	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ■ 手すりが適切な位置で、固定されていること。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。 ■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「13. 重力加速度の大きさの範囲」からご確認ください。 ■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。
	■ 本器は人間の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。 ■ 電源コードや他のケーブルの上に重い物を載せたり、本器の下敷きにしないこと。 火災・感電の原因になります。 ■ AC アダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ■ 電池を交換する際は、すべて新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないでください。 故障の原因になります。 ■ 電池は＋・－の極性に注意し、正しく設置してください。 ■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意	
❗	■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 ■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等、適切な措置を講ずること。 ■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲壁などとの接触を避けること。 測定に影響します。 ■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。
⃠	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。 故障の原因になります。 ■ 手すりおよび伸縮ポールに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。 転倒の恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないこと。 けがや故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
❗	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
⃠	■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。 ■ 長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておいてください。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
❗	■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。 ■ 機器の動作を止め、AC アダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。 ■ 体重計の校正はお客様では行えません。弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意	
	■ 本器は、JIS C 61000-4-3（電磁両立性）に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 次に一般的な原因と対策の一例をあげます。 ■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。 □ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。 □ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 ■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合 □ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 □ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 □ 他の電源コンセントから電源を取る。 ■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） □ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。 □ 部屋を加湿する。 ■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 □ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

⚠注意	
	■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。 ■ 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。 可燃物として処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。
測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

⚠注意	
	■ 車イス使用の際には、計量台に乗ったら必ず車イスのブレーキをかけて測定してください。測定中に車イスが移動し、けがをする恐れがあります。 ■ 電源ケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。 ■ 本器には角や段差があります。転倒したりぶつけてけがをしないよう注意してください。
	■ 手すりの上に登ったり、ぶら下がったりしないでください。 けがや転倒の恐れがあります。 ■ 計量台の端に乗らないでください。 転倒する恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗らないでください。 けがや転倒する恐れがあります。 ■ 手すりに強く寄りかからないでください。 転倒する恐れがあります。
	■ 計量台に乗るときには、車いすと本器の間に手や髪の毛をはさまないように注意してください。 ■ カバーや表示器台に手や髪の毛をはさまないように注意してください。 ■ 移動時に、計量台を落下させないように注意してください。

お知らせ
■ 計量台の中央部にお乗りください。 ■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。

開梱

⚠注意

■ 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

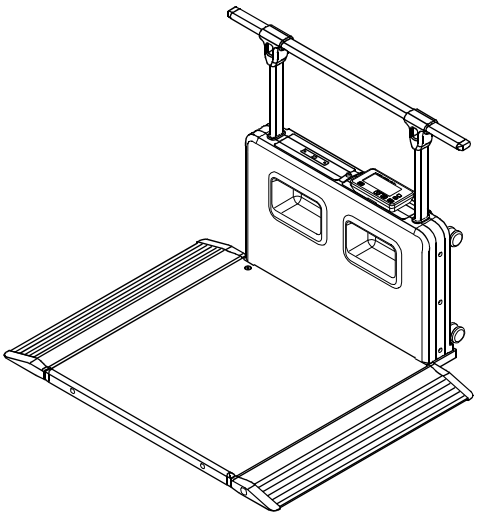
■ 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷があったり内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または当社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「12. アクセサリ・オプションユニット」を参照してください。

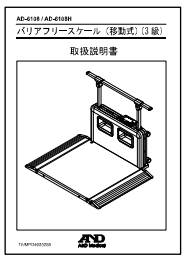
□本体 ..... 1 セット
・計量台 ..... 1 台
・表示器 ..... 1 個

□付属品　取扱説明書（本書） ..... 1 冊
製品保証書 ..... 1 冊

本体



付属品



取扱説明書（本書）

保証書

[Blank Page]

目次

1. はじめに 3
2. 特長 3
3. 検定付き計量器 4
4. 用語の解説 4
5. 仕様 5
   5.1. 構成 5
   5.2. 本体仕様 5
   5.3. 外形寸法 6
6. 各部の名称と機能 7
   6.1. 各部の名称 7
   6.2. スイッチ機能 8
   6.3. 表示部の説明 9
7. ご使用の準備 10
   7.1. 設置 10
   7.2. 電源の準備 12
      7.2.1. 乾電池を使用する場合 12
      7.2.2. ACアダプタを使用する場合 13
   7.3. 始業前点検 14
      7.3.1. 電源投入前 14
      7.3.2. 電源投入後 14
      7.3.3. 時計設定 15
   7.4. プリンタの準備 17
8. 移動方法 20
9. 操作方法 21
   9.1. 測定 21
   9.2. 衣服・車いすの重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定） 23
      9.2.1. 衣服の重さとして1.0 kg、または車いすの重さとして10.0 kg引くとき 23
      9.2.2. 衣服の重さまたは車いすの重さを変更するとき 24
   9.3. 風袋引き測定 25
   9.4. 車いす測定 27
      9.4.1. プリンタのラベル紙設定 27
      9.4.2. 車いす測定 29
      9.4.3. バーコードによる車いす引き 30
   9.5. ファンクション設定 31
      9.5.1. ファンクション設定方法 31
      9.5.2. ファンクション一覧 32

10. 通信機能（RS-232Cインタフェース） 34
10.1. 標準 RS232C インタフェース 34
10.2. データフォーマット 35
11. 保守 37
11.1. 保守点検と安全管理 37
11.2. 清掃 37
11.3. 定期点検 38
11.3.1. 電源投入前 38
11.3.2. 電源投入後 38
11.4. 廃棄 39
11.5. 修理を依頼される前に 40
12. アクセサリ・オプションユニット 41
13. 重力加速度の大きさの範囲 41
14. アフターサービス・保証 42
14.1. 保証期間 42
14.2. 免責事項 42
14.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口 42

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのバリアフリースケール AD-6108、AD6108H をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、AD-6108、AD-6108H の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。

本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

AD-6108、AD-6108H は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向けの業務用体重計です。以下の特長があります。

- バリアフリー仕様
- キャスターにより運びやすくなっています。
- 簡単な操作で体重の測定ができます。
- 拡張端子による通信出力機能（RS-232C 準拠）があります。

3. 検定付き計量器

AD-6108、AD-6108H は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。
検定付き計量器を使用するための事項が計量台の銘板に記載されています。以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

■ 使用地域の制限
検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、計量台の銘板に記載されています。
※使用地域については、「13. 重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

■ ひょう量と最小測定量、目量
「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」は、計量台の銘板および表示部に記載されています。
「取引」とは、計量法の「有償であると無償であるとを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

■ 使用温度範囲
「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、計量台の銘板に記載されています。

■ 定期検査
本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 11 条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。
定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。
※表示固定の解除については、「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。
性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問合せください。
※定期点検については、「11.3. 定期点検」を参照してください。

■ 校正
検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4. 用語の解説

用語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。本器のひょう量は 200 kg です。
目量	はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。 本器は質量に応じて以下になります。 100 g（150 kg 未満）、200 g（150 kg 以上）です。
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋引き	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「衣服引」「車いす引」「PT」として表現しています。
総量	風袋量又はプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。

5. 仕様

5.1. 構成

型名 / 搭載機能	AD-6108	AD-6108H
デジタル LCD 表示	○	○
体重測定	○	○
風袋引き測定	○	○
プリセット風袋引き測定	○	○
手すり	―	○
印字機能	オプション	オプション

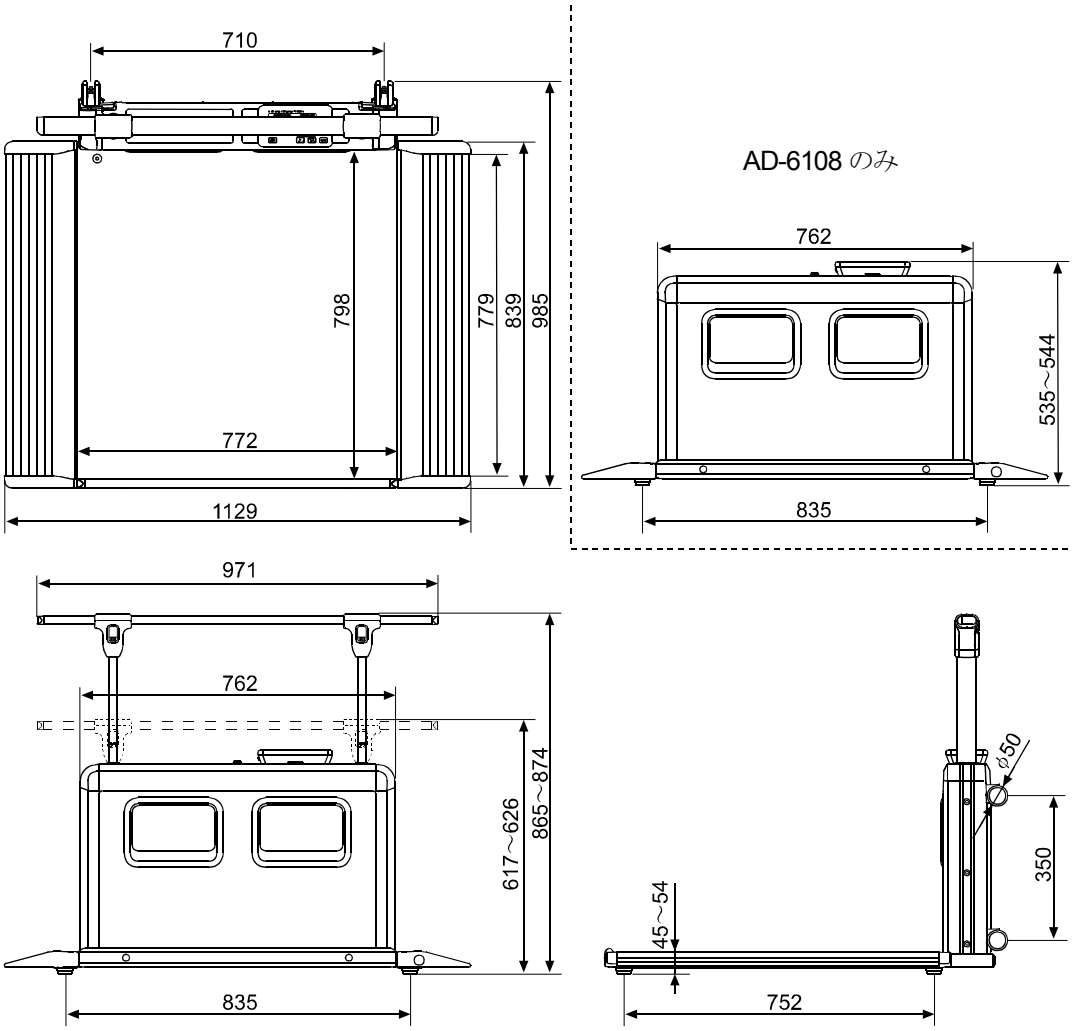
5.2. 本体仕様

項目	仕様	
型名	AD-6108	AD-6108H
販売名	バリアフリースケール	
精度等級	3 級	
ひょう量	200 kg	
目量	100 g（150 kg 未満）/ 200 g（150 kg 以上）	
最小測定量	2 kg	
最大減算風袋量	90 kg 以下	
使用温湿度範囲	温度：+5 °C～+35 °C 湿度：85 %RH 以下	
保存温度範囲	温度：-10 °C～+50 °C	
表示	7 セグメント液晶表示 メイン画面：文字高 23 [mm]	
電源	単 1 形アルカリ乾電池：6 本 または オプション：AC アダプタ（AX-TB230、AS-BLS120W）	
乾電池寿命	連続動作（アルカリ乾電池使用時）500 時間以上	
計量台寸法	1129 (W) x839 (D) x 544 (H) [mm]	1129 (W) x 839 (D) x 626~874 (H) [mm]
本体質量	約 40 kg（AC アダプタ、乾電池含まず）	
耐用期間	設置後 5 年　弊社データによる自己認証。 （正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。）	

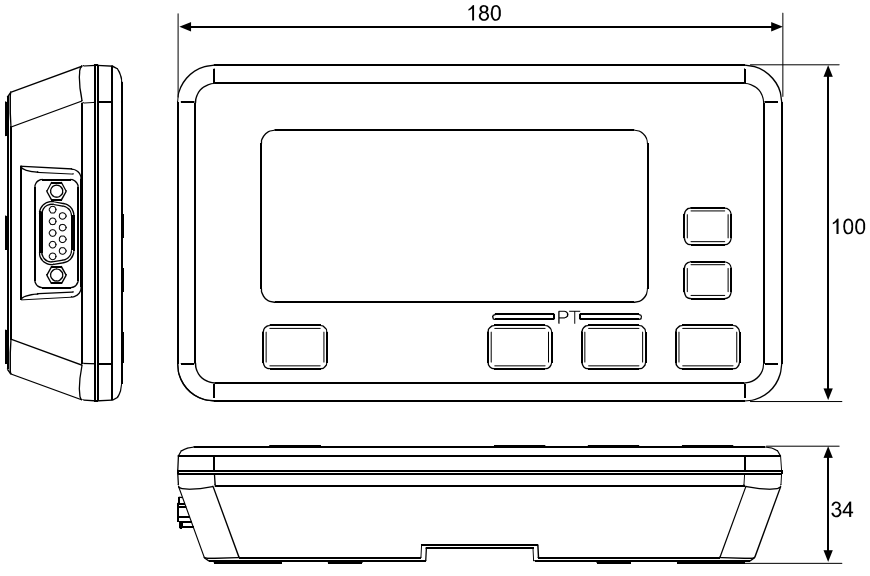
※　乾電池の寿命は、周囲の環境や温度により異なります。

5.3. 外形寸法

☐ 計量部



☐ 表示器

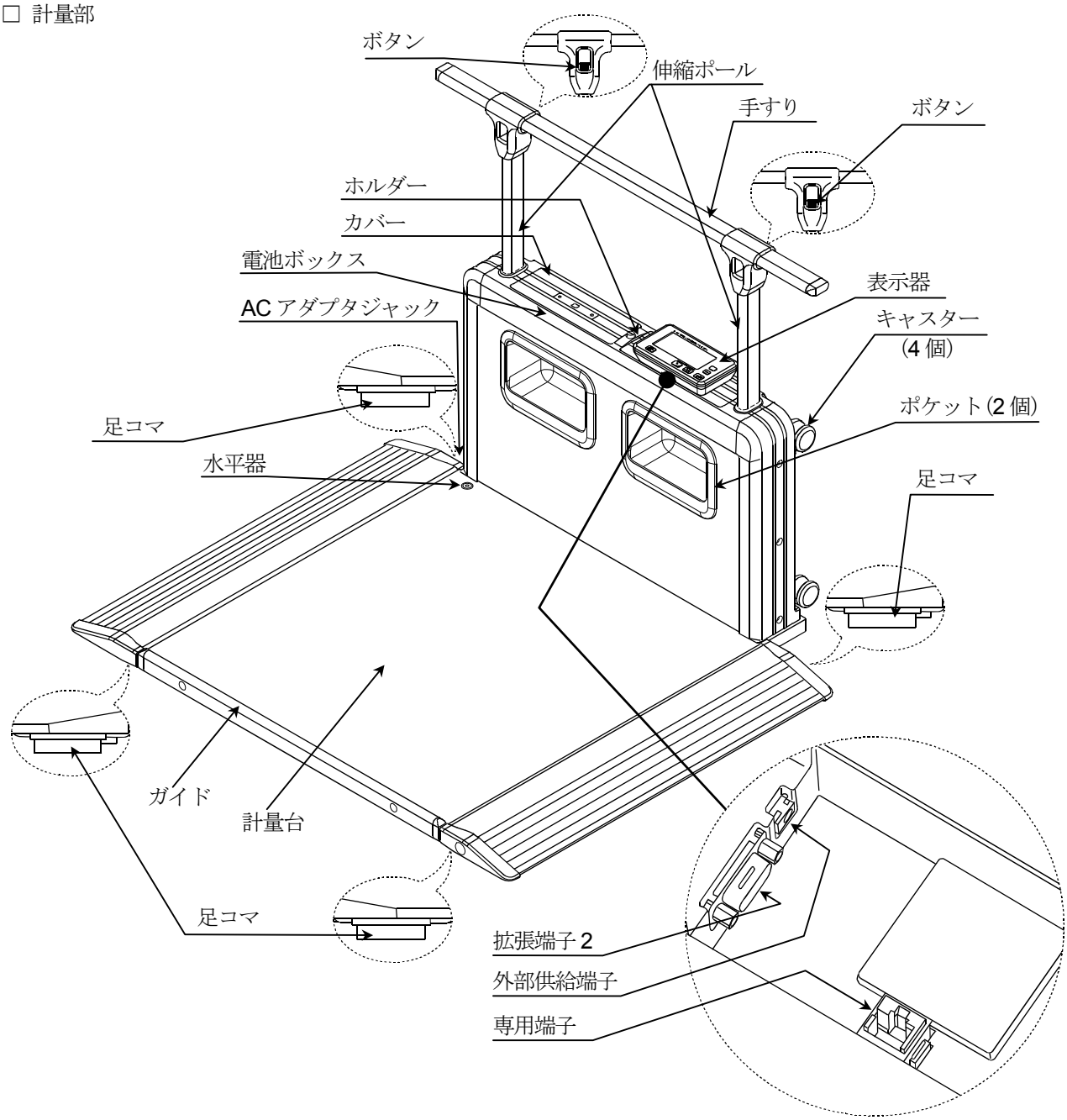


単位：mm

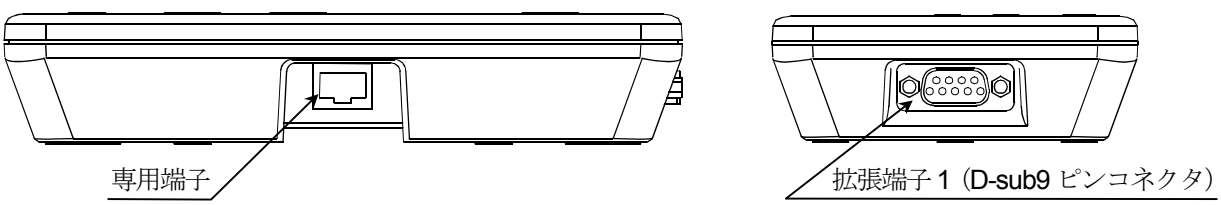
6. 各部の名称と機能

6.1. 各部の名称

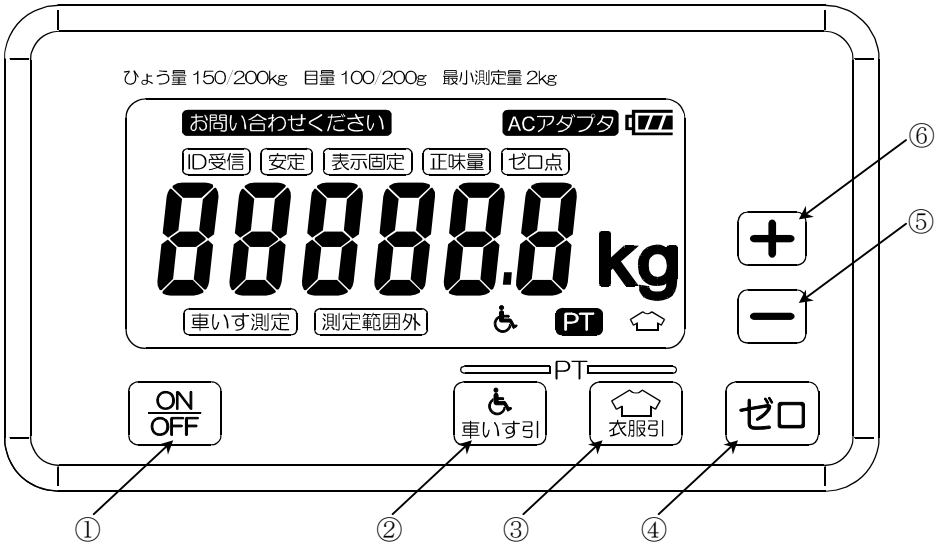
□ 計量部

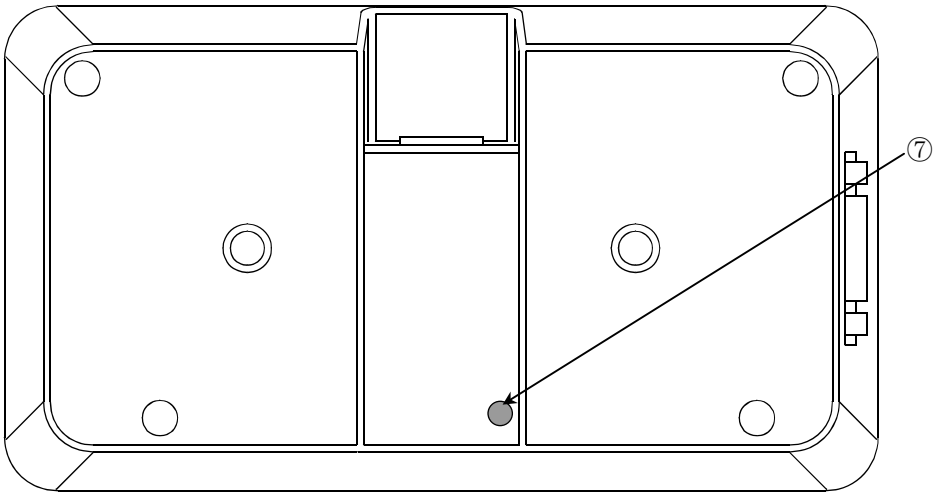


□ 表示器



6.2. スイッチ機能





表示器の裏面

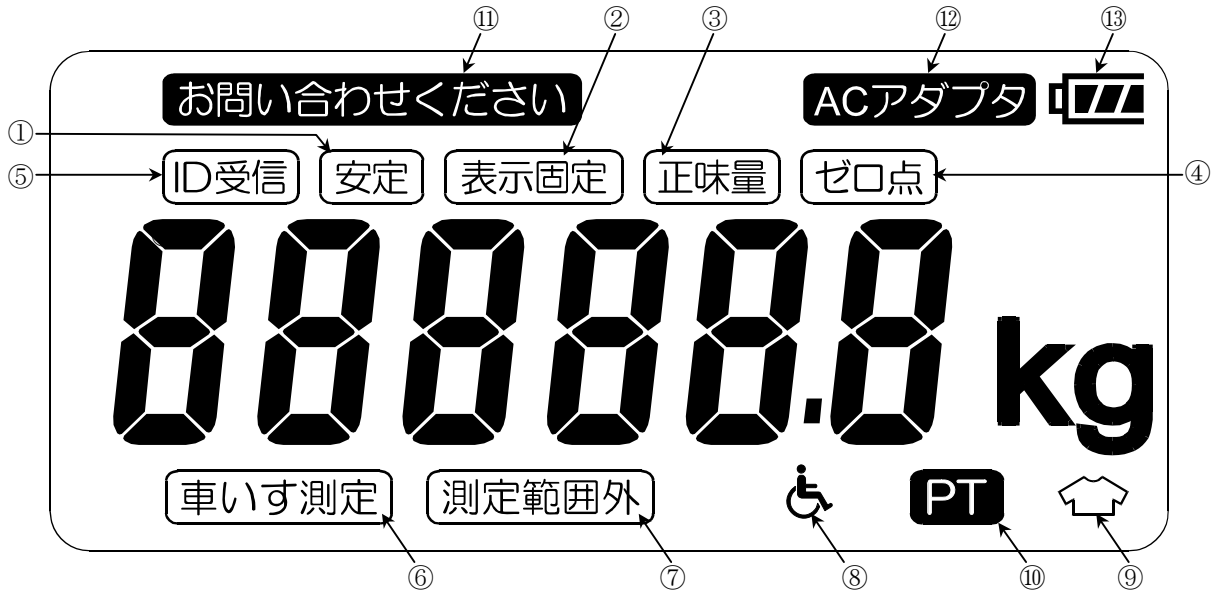
番号	名称	機能
①	ON/OFF	電源のオン・オフを行います。電源オンで測定状態になります。(※2)
②	車いす引	事前に車いすの重さを差し引くときに押します。初期値 10.0 kg。 (プリセット風袋引き)
③	衣服引	事前に衣服の重さを差し引くときに押します。初期値 1.0 kg。 (プリセット風袋引き)
④	ゼロ	表示を 0.0 kg にするとき押します。
⑤	＋	値を増加させます。
⑥	－	値を減少させます。
⑦	時計 (※1)	時刻設定をするときに押します。

※1 表示裏の隠れスイッチです。先端の尖っていない細い棒で押してください。

※2 本器はオートパワーオフ機能がついています。この機能は電源 ON 後、約 5 分間スイッチ操作がなく計量台に何も載っていない状態が続くと自動的に電源が OFF になります。このオートパワーオフ機能の設定は、ファンクションにて動作設定することができます。詳しくは「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

6.3. 表示部の説明

□ 画面



番号	名称	説明
①	安定	体重が安定すると点灯します。
②	表示固定	安定した体重値を一定時間表示しつづけるとき点灯します。
③	正味量	風袋引き測定、衣服引き又は車いす引き（プリセット風袋）測定をしている間、点灯します。
④	ゼロ点	体重値が 0.0 kg のとき点灯します。
⑤	ID 受信	拡張端子から被測定者 ID が入力されたとき点灯します。
⑥	車いす測定	車いす測定が動作しているときに点灯します。 詳細は「9.4. 車いす測定」を参照ください。
⑦	測定範囲外	計量値が 201.6 kg を超えたときと、-1.9 kg 未満のとき点灯します。
⑧	♿	車いす引き（プリセット風袋）測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。衣服引き測定をしている時は点灯しません。
⑨	👕	衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。車いす引き測定をしている時は点灯しません。
⑩	PT	車いす引きまたは、衣服引き測定をしている間、点灯します。
⑪	お問い合わせください	製品の異常（故障）を検知した時点灯します。
⑫	ACアダプタ	AC アダプタで動作しているとき点灯します。
⑬	🔋	乾電池の残量に応じて点灯します。乾電池交換の目安にしてください。 🔋・・・・・乾電池は十分にあります。 🔋・・・・・少し少なくなりました。 🔋・・・・・残りわずかです。早めに交換してください。 🔋・・・・・直ちに交換が必要です。

7. ご使用の準備

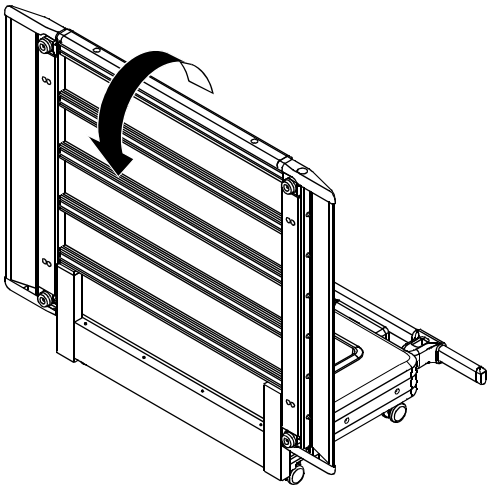
7.1. 設置

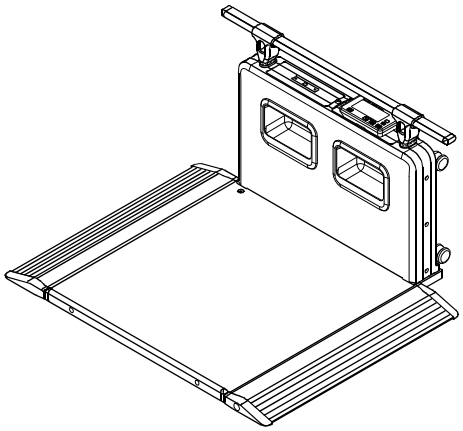
⚠注意	
❗	■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない水平で安定した場所に設置してください。 製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。 ■ 本器は、ひょう量と本器重量に十分耐え得る場所に設置してください。 ■ 本器に腰かけないでください。破損する恐れがあります。 ■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁等との接触は避けてください。測定に影響します。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順：

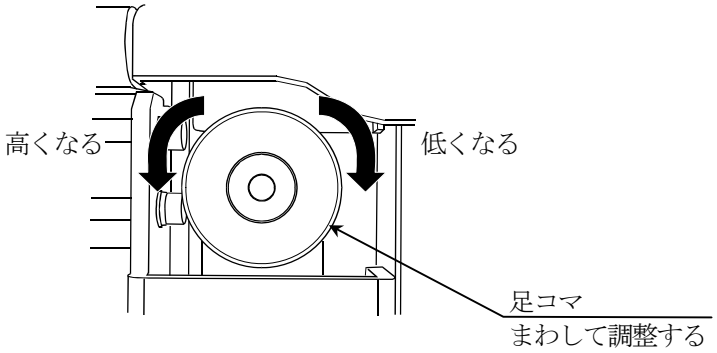
1. 梱包箱から本器を取り出します。
   移動する場合は、「8. 移動方法」の手順に従ってください。

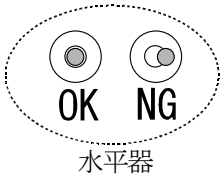
2. ガイドを両手で持ち、計量台をゆっくり倒します。



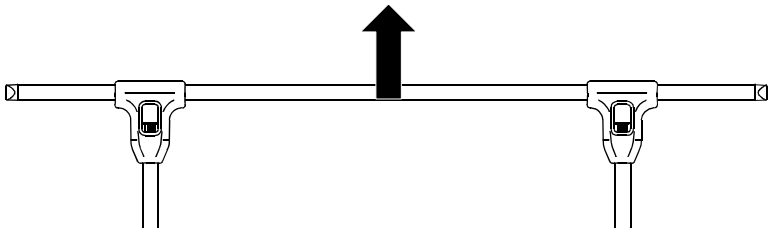


3. 水平器の円（赤色）の中に気泡がくるように、計量台の四隅の足コマを回して高さを調整します。計量台の足コマ以外の部分が床や壁等と接触しないように注意してください

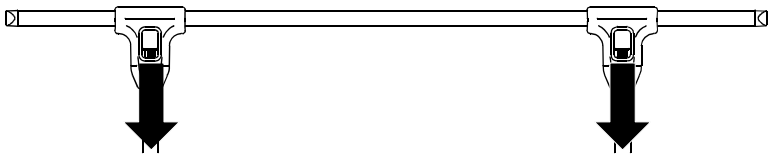




4. 手すり付きの場合は下記の手順で使用する高さに調整します。
   - 高くしたい場合は手すりを引っ張ります。



   - 低くしたい場合は両方の伸縮ポールのボタンを押しながら下げます。



⚠注意	
	■ 手すりを強く引っ張らないでください。 ■ 手すりに寄りかからないでください。 ■ 手すりに乗らないでください。
	■ 手すりを伸縮時に手などを挟まないようにご注意ください。 ■ 測定時は手すりが固定されていることを確認してください。

7.2. 電源の準備

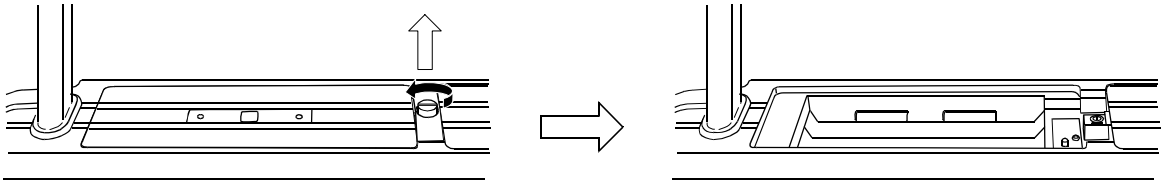
7.2.1. 乾電池を使用する場合

⚠注意	
❗	■ 乾電池の＋－の方向を間違えないように入れてください。 ■ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。 ■ 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。 ■ 長期間使用しない場合、あるいは専用ACアダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。 乾電池を入れたまま放置すると、液漏れが起こり故障の原因となります。 乾電池の液漏れによる修理は保証期間内でも有償修理になります。 ■ 乾電池の液が体についたら、すぐにその部位を水でよく洗い流してください。

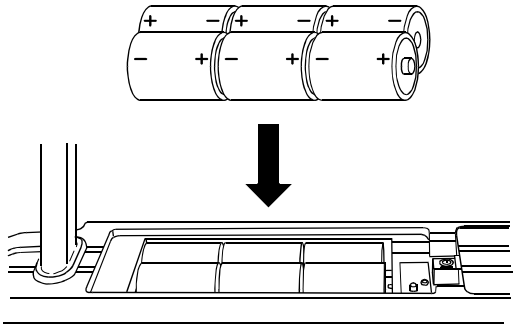
※乾電池は付属しておりません。ご使用の場合は別途ご購入ください。

手順：

1. 計量台のホルダーのツマミをゆるめて、カバーを外します。



2. カバーを外すと電池ボックスがあるので、＋－の方向に注意して、同種の新しい単1形乾電池を6個入れます。



3. カバーを取り付けて、ホルダーを固定します。

・乾電池の交換時期について

乾電池の残量に応じて図のように乾電池マークが変わります。

- ・・・・・乾電池は十分にあります。
- ・・・・・少し少なくなりました。
- ・・・・・残りわずかです。早めに交換してください。
- ・・・・・直ちに交換が必要です。

図のように、乾電池マークのケースだけ点灯すると、動作できません。直ちに乾電池を交換してください。

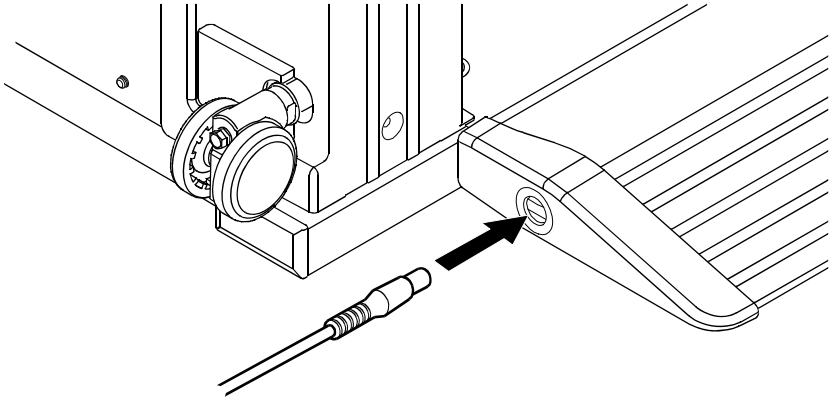
お知らせ
■ が点灯したら、同種の新しい単1型乾電池6個に交換してください。

7.2.2. ACアダプタを使用する場合

⚠警告	
	■ 電源電圧は交流 100 V でご使用ください。

⚠注意	
	■ AC 電源をご使用の場合は別売りの AC アダプタをお求めください。 （弊社指定専用アダプタは、AX-TB230 又は AS-BLS-120W です。） ■ AC アダプタは、必ず弊社製品指定の専用アダプタ品をご使用ください。 弊社指定外の物を使用した場合、火災、感電、または製品故障の原因となります。

専用 AC アダプタのケーブルを計量台の AC アダプタジャックに差し込んでください。



7.3. 始業前点検

⚠注意	
	■ 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

7.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ 変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	■ 計量台、手すりのガタつき、固定異常はないか ■ 足コマは4箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか ■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
接続ケーブル	■ 電源ケーブルの上に重いもの、車いす、本体等が載っていないか ■ 電源ケーブル・プラグ、専用接続ケーブル等は傷んでいないか ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか

7.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか
データ処理 （他PC等への接続の場合）	■ 正常に通信可能か ■ データに異常はないか
スイッチ・ボタン	■ スイッチ・ボタン類の動作に異常はないか
表示	■ 文字欠け等表示異常はないか

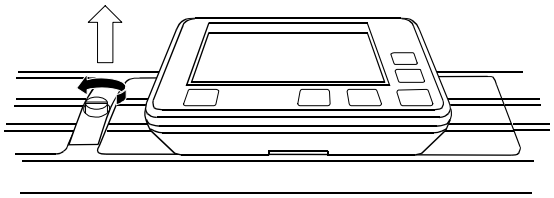
上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書を参照の上、修正を行ってください。

7.3.3. 時計設定

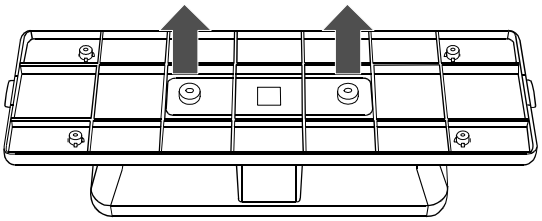
下記の方法で日付・時刻を設定してください。設定した日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力され、印字などがされます。

表示器の取り外し方

1. ホルダーのツマミをゆるめて固定ホックをはずし、表示器を固定しているカバーをはずします。

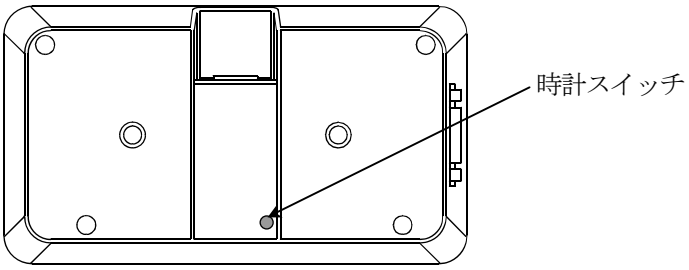


2. カバーの裏側にあるネジを２つ外し、表示器を外します。

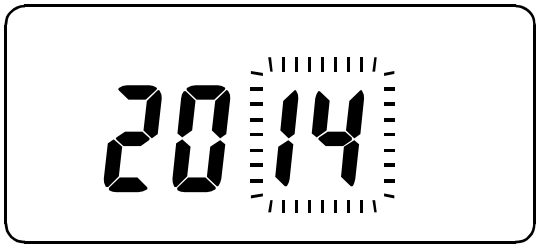


設定手順：

1. 測定状態で表示器裏の時計スイッチを 3 秒以上押してください。

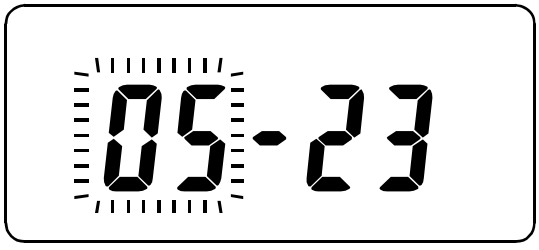


2. 画面に“年”が点滅表示します。[＋]、[－] スイッチで西暦を合せてください。



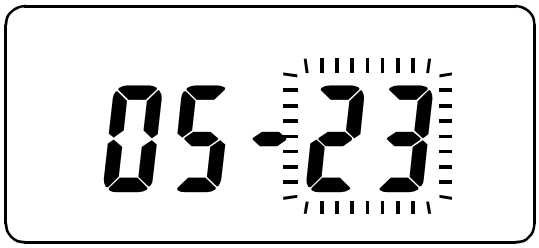
3. [ゼロ] スイッチを押すと、“年”が設定され、画面に月日が点灯し、“月”が点滅表示します。

4. [＋]、[－] スイッチでお使いの月に合わせてください。



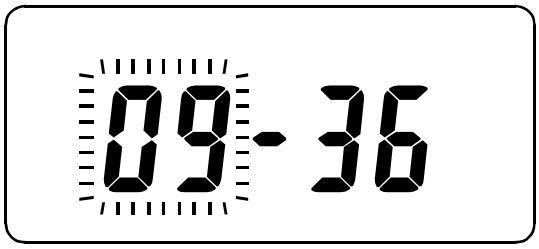
5. ゼロ スイッチを押すと“月”が設定され、画面の“日”が点滅表示します。

6. ＋、－ スイッチでお使いの“日”に合わせてください。



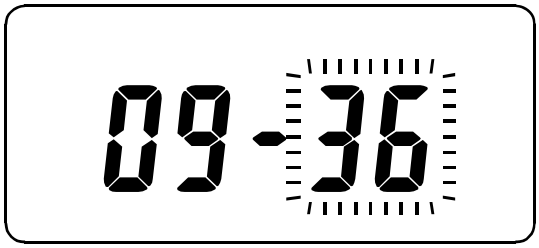
7. ゼロ スイッチを押すと、“日”が設定され、画面に時分が点灯し、“時”が 24 時間表記で点滅表示します。

8. ＋、－ スイッチでお使いの時に合わせてください。



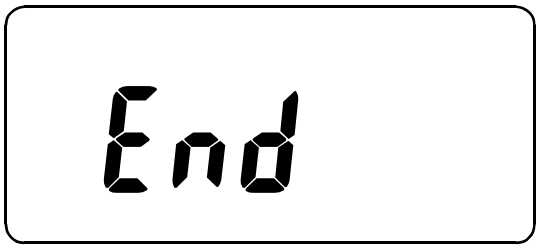
9. ゼロ スイッチを押すと“時”が設定され、画面の“分”が点滅表示します。

10. ＋、－ スイッチでお使いの分に合わせてください。



11. ゼロ スイッチを押すと“分”が設定され、画面に「End」が表示し、設定は完了します。

12. このとき、時計は 00 秒よりスタートします。



お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、2015～2099 年です。
- 本器の時計は、24 時間制です（閏年対応）。
- 時刻設定中に ON/OFF スイッチを押すなどして時刻設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ（年～分）は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。

7.4. プリンタの準備

プリンタを使用することで体重、風袋、ID、時刻を印字できます。

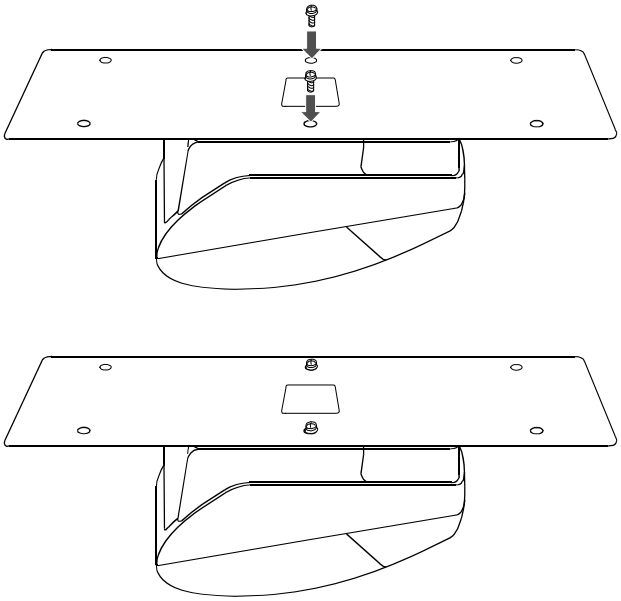
プリンタ：AD-PR580
- プリンタ本体
- AC アダプタ
- AC コード

プリンタオプション：AD-PR580-004
- 板金
- ネジ 2 種類（2 個、4 個）
- D-sub ケーブル AX-KO3037
- 電源中継ケーブル AX-KO4782

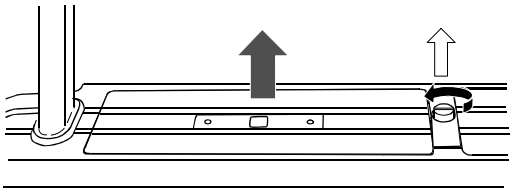
⚠注意	
	■ プリンタ動作時は本体の電源は AS-BLS-120W を使用してください。 ■ 電池やオプションの AX-TB230 ではプリンタは動作しません。。

取付手順：

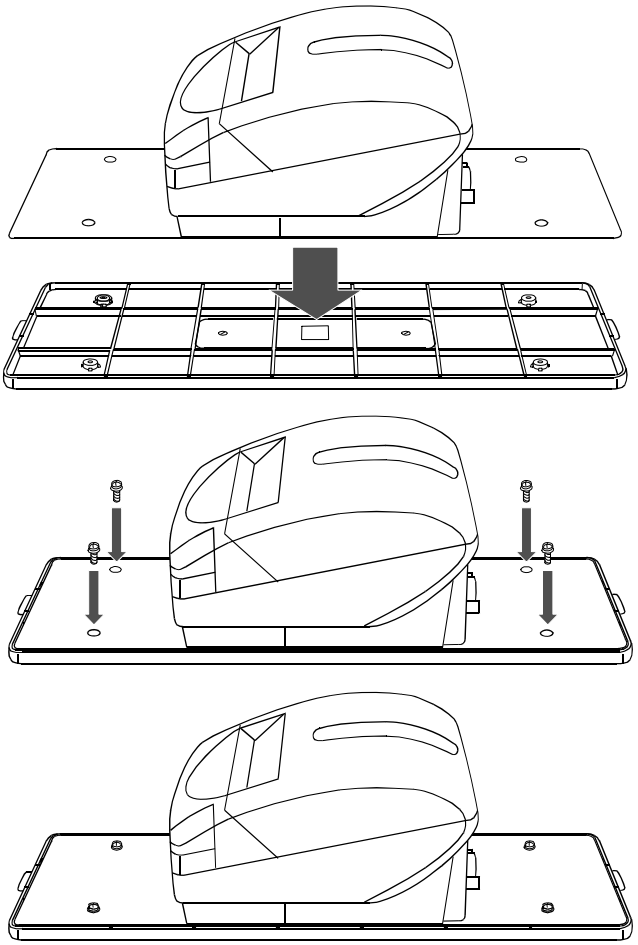
1. プリンタ本体に板金を取り付けます。



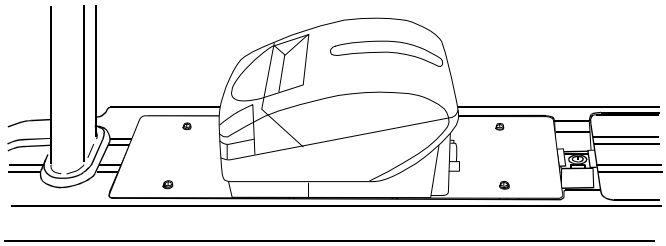
2. ホルダーのツマミをゆるめ、電池ボックスのカバーをはずします。



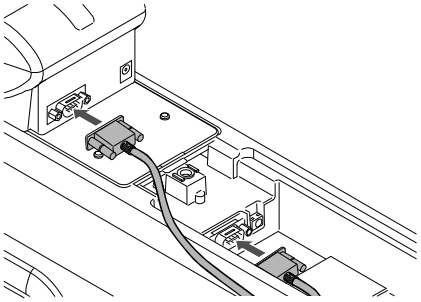
3. 取り外したカバーを裏返し、プリンタを取り付けた板金を取り付けます。



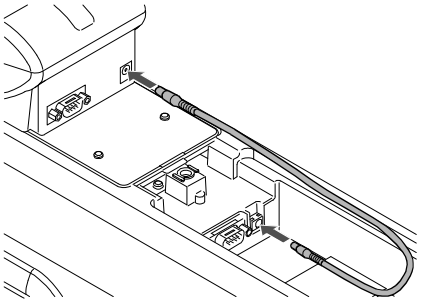
4. プリンタが取り付いたカバーを電池ボックスの上に取り付けます。



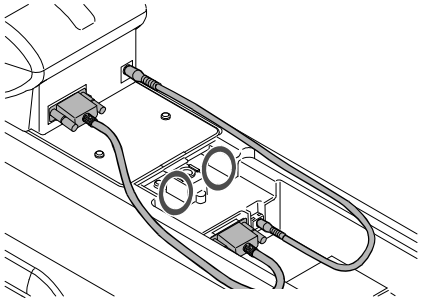
5. 表示器のカバーを外し、オプションの D-sub ケーブル（AX-KO3937）を接続します。



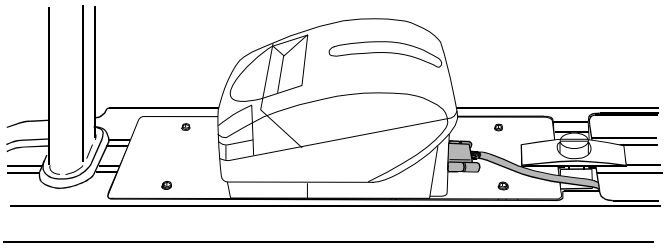
6. オプションの電源接続ケーブル(AX-KO4782)を接続します。このときプラグが小さいほうを本器に接続します。

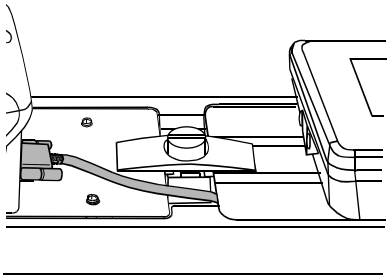


7. 表示器のカバーを戻します。このときケーブル 2 本を〇で囲んだ部分を通るようにします。

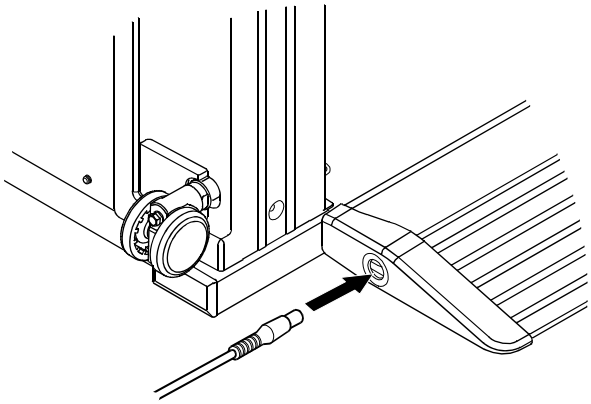


8. ホルダーを横にしてプリンタ、表示器両方のカバーを固定します。
このとき、ケーブルが挟まっていないか注意してください。。





9. AC アダプタ（AX-BLS-120W）を接続してください。



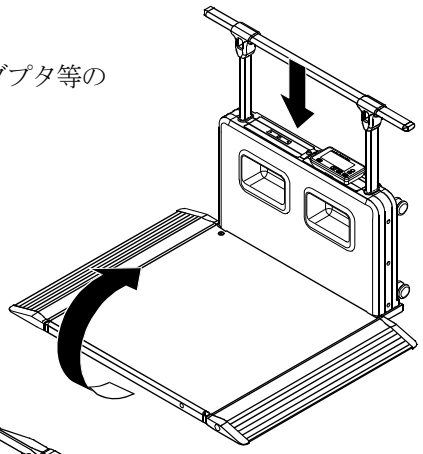
8. 移動方法

⚠注意	
	■ 本器のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 本器は小さな隙間があります。指などをはさみ、けがをしないようにご注意ください。 ■ 本器を運搬用台車として使用しないでください。 ■ 移動時にケーブル類をキャスターで挟まないように注意してください。 ■ 激しく移動しないでください。計量台の転倒等でけがをする原因になります。 ■ 手すりを引っ張って移動しないでください。けがをする原因になります。 ■ キャスターを使用して移動できる状態で保管はしないでください。 転倒による怪我や破損、故障の原因になります。
	■ 移動時は手を放さないでください。バランスを崩し、けがをする原因になります。 ■ 人や物をのせて移動しないでください。 ■ AC アダプタをジャックに挿したまま、移動しないでください。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

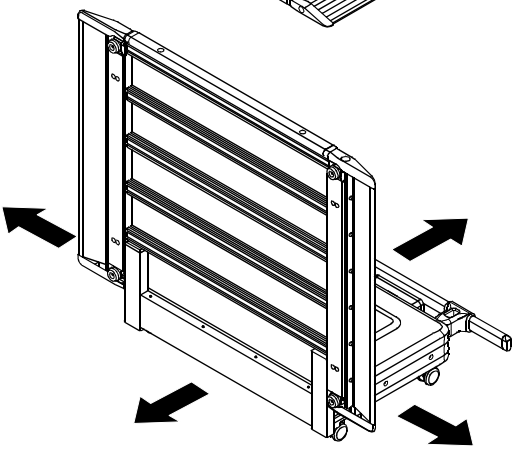
手順：

1. 手すり付きの場合は手すりを完全に収納してください。また、AC アダプタ等の付属品を使用している場合は収納してください。

2. ガイドを両手で持って計量台を引き起こしてください。



3. 移動時はガイドを両手でもって静かに移動してください。
4 方向に移動できます。
足元や周りに十分注意して移動してください。



⚠注意	
	■ 計量台が振動しないように、ゆっくり移動してください。 ■ 移動時は壁や物等にぶつけないように注意してください。 ■ 移動時は段差などでの衝撃、衝突を避けてください。故障の原因になります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因になります

4. 設置場所に着いたら静かにガイドを両手で持って静かに倒してください。
設置方法は「7.1. 設置」を参照ください。

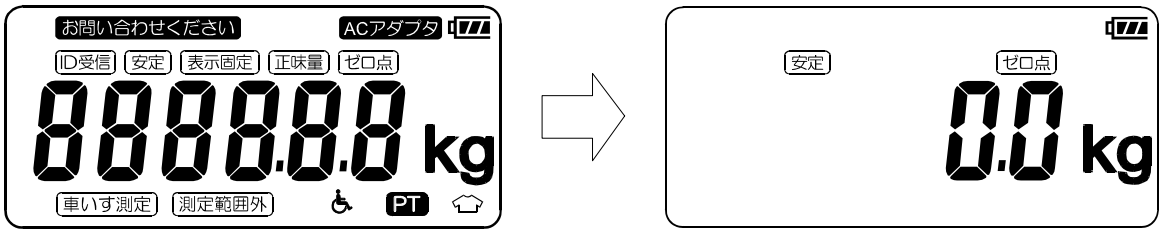
9. 操作方法

⚠注意	
❗	■ 本器には角や段差があります。計量台の端に乗ったり、つまずきやけがをしないように注意してください。

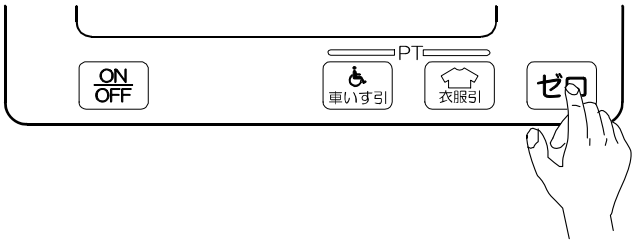
9.1. 測定

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2. 電源の準備」参照。
2. ON/OFF スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。



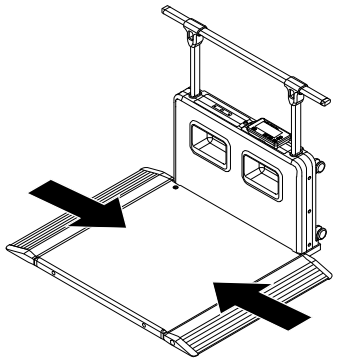
“0.0 kg”表示になっていない場合は、ゼロ スイッチを押してください。
“- - - - - -”が点滅後、安定したら“0.0 kg”になります。

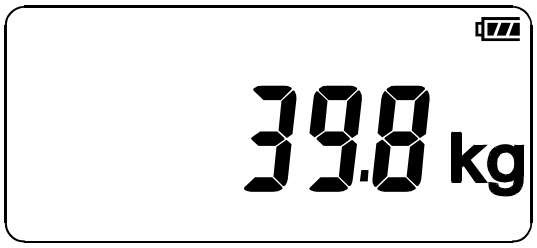


計量台に物が載った状態で電源を入れると、全点灯表示後　“- - - - - -”表示になります。
ものを降ろしてください。

お知らせ
■ 乾電池で動作しているとき、何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が約 5 分間続くと自動的に電源 OFF になります。（AC アダプタで動作しているときは自動的に電源 OFF はしません。）「9.5. ファンクション設定」参照

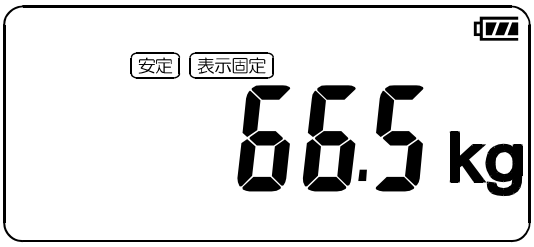
4. 車いすを使用して測定する場合は、計量台の中央部にスロープの方向から静かに乗ります。
車いすを使用しないで測定する場合は手すりを使って計量台にスロープの方向から静かに乗ります





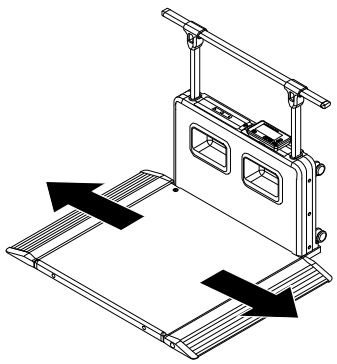
⚠ 注意	
	■ 車いす使用の際には、計量台に乗ったら必ず車いすのブレーキをかけて測定してください。測定中に車いすが移動し、けがをする恐れがあります。 ■ 測定を開始したら被測定者以外は体重計に触れないでください。測定誤差の原因になります。 ■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。
	■ 計量台に乗るときには、本器と車いすの間に手や足を挟まないように注意してください。

5. 体重が安定すると、「安定」マークと「表示固定」マークが点灯し、体重値が表示固定されます。



お知らせ
■ 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 5 kg 以上の場合に適用されます。 ■ 体重値に±3 kg の変動があると表示固定は解除されます。(設定により 7 秒経過すると解除することもできます。) ■ 総量が 201.6 kg を超えると表示範囲外になり、“E”を表示します。

6. 測定が終了したらスロープの方向へ計量台から静かに降ります。測定しないときは ON/OFF スイッチを押して電源 OFF にします。



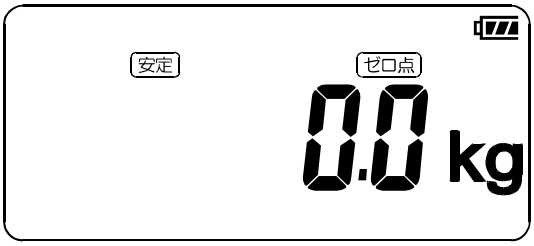
9.2. 衣服･車いすの重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）

9.2.1. 衣服の重さとして1.0 kg、または車いすの重さとして10.0 kg引くとき

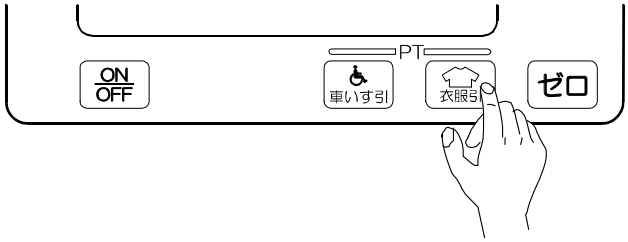
プリセット風袋機能を使用することで、衣服や車いすの重さをあらかじめ引くことができます。
プリセット風袋の範囲は 90.0 kg までです。

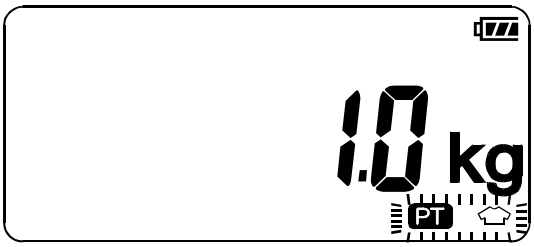
手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2. 電源の準備」参照。
2. ON/OFF スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。

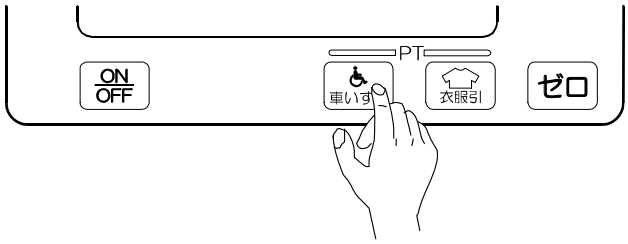


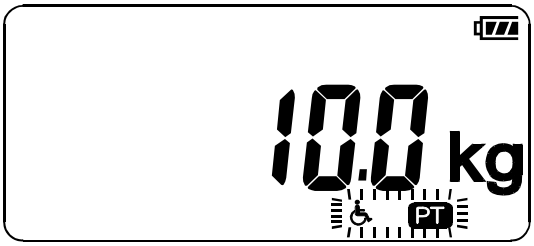
4. 衣服引 スイッチを押すと初期の衣服引き量“1.0 kg”が表示され、「PT」マークと「衣服」マークが点滅します。



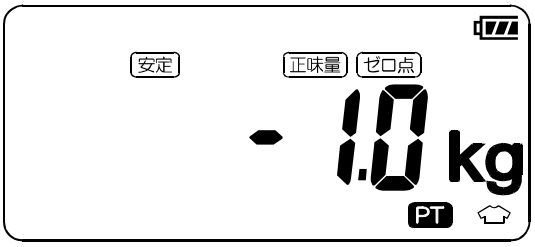


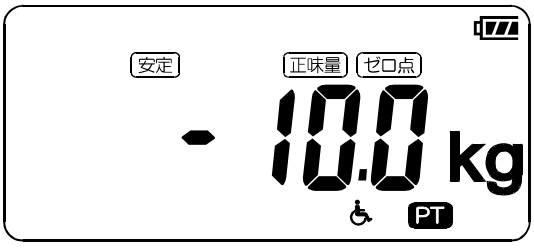
または、車いす引 スイッチを押すと初期の車いす引き量“10.0 kg”が表示され、「PT」マークと「車いす」マークが点滅します。





5. スイッチを押してしばらくすると衣服引き量または車いす引き量が決定します。
「正味量」マークが点灯し、衣服引き量または車いす引き量が引かれた測定ができます。



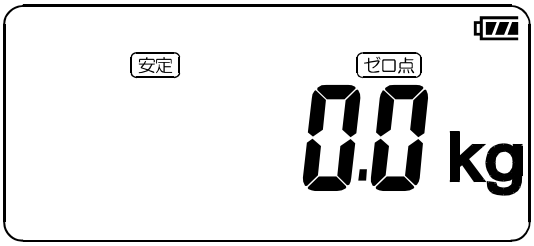


6. 通常の測定に戻すには、計量台に何ものせないで、ゼロ スイッチ、衣服引 スイッチまたは 車いす引 スイッチを押します。

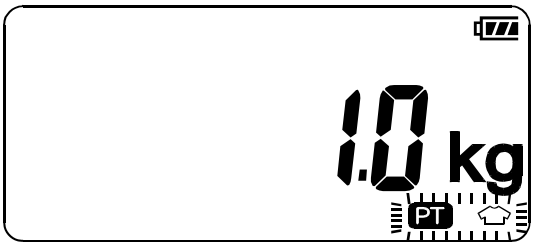
9.2.2. 衣服の重さまたは車いすの重さを変更するとき

手順：

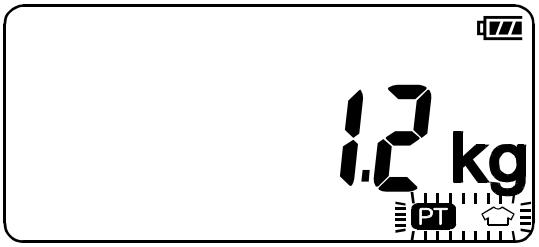
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2. 電源の準備」参照。
2. ON/OFF スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。

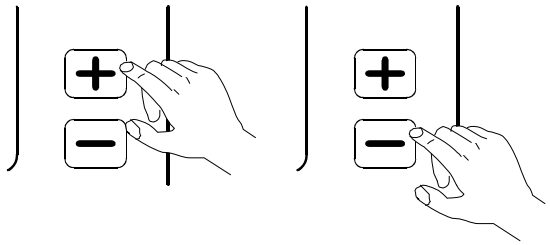


4. 衣服引 スイッチを押すと初期の衣服引き量“1.0 kg”が表示され、「PT」マークと「衣服」マークが点滅します。または、車いす引 スイッチを押すと初期の車いす引き量“10.0 kg”が表示され、「PT」マークと「車いす」マークが点滅します。

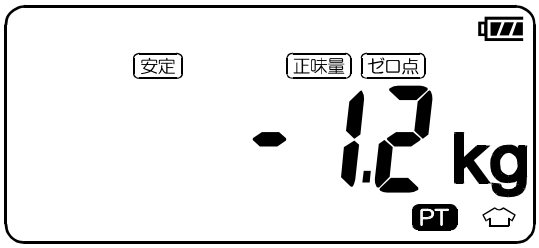


5. ＋ スイッチ、－ スイッチを押すと、衣服引き量が 0.1 kg 単位で変更されます。
変更中は「PT」マークと「衣服」マークが点滅し続けます。
車いす引きの場合は「PT」マークと「車いす」マークが点滅し続けます。





6. 変更後、しばらくすると衣服引き量または車いす引き量が決定します。
「正味量」マークが点灯し、変更された衣服引き量または車いす引き量が引かれた測定ができます。
決定時に安定してない場合、“- - - - - -”を表示するときがあります。安定すれば数値が表示されます。



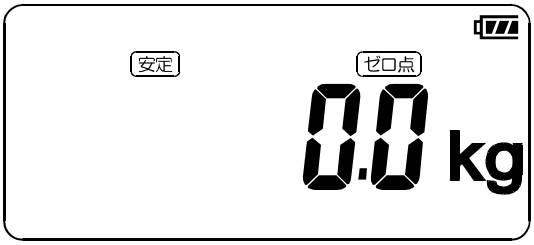
7. 通常の測定に戻すには、計量台に何ものせないで、ゼロ スイッチ、衣服引 スイッチまたは 車いす引 スイッチを押します。

9.3. 風袋引き測定

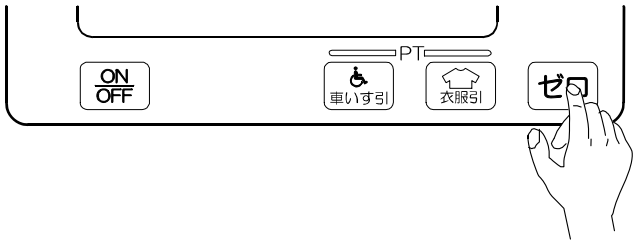
風袋引き機能を使用することで、衣服や車いすの実際の重さを測定した結果から引くことができます。
風袋の範囲は 90.0 kg までです。

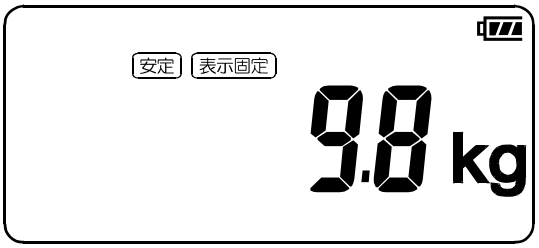
手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2. 電源の準備」参照。
2. ON/OFF スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。

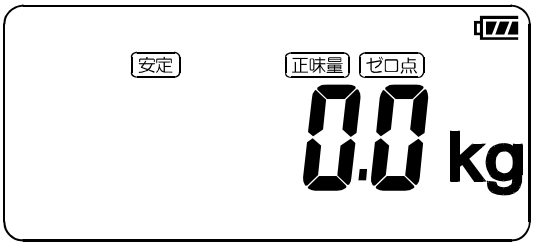


4. 測定した結果から重さを引きたいもの（例えば車いす）を静かに計量台にのせ、ゼロ スイッチを押します。

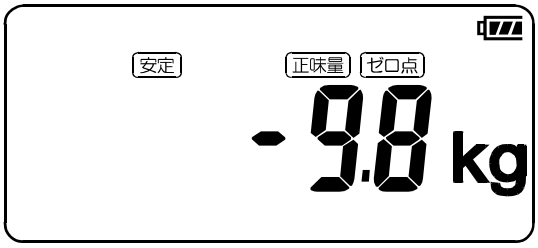




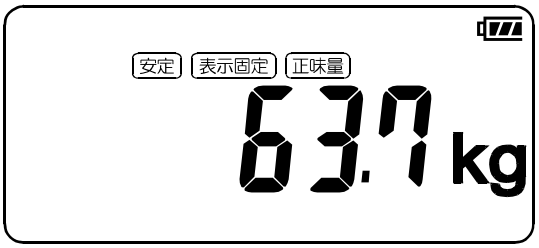
5. 約 4 kg 以下は、“- - - - - -”点滅表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
約 4 kg を超える場合は“- - - - - -”点滅表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「正味量」マーク、「ゼロ点」マークが点灯します。



6. 計量台にのせているものを降ろします。引きたいものの量がマイナス表示されます。

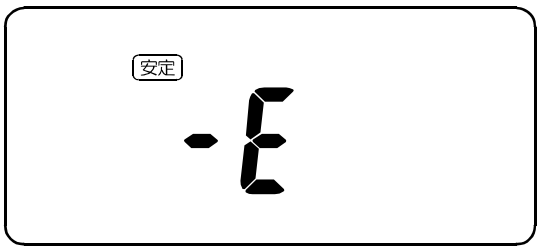


7. 計量台にのると衣服などを引いた体重値が表示されます。

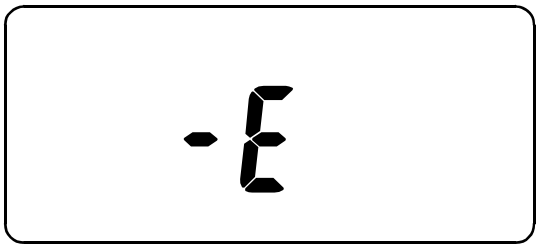


ゼロスイッチ使用時のご注意

- 計量台に載せた質量が 2.0 kg～4.0 kg（例えば 2.0 kg）のとき ゼロ スイッチを押すと表示は“0.0 kg”になりますが、その後ものを取り除くと、“-2.0 kg”と表示せずにエラーが表示されます。
- 「安定」の表示が点灯している場合は、ゼロ スイッチを押して表示を“0.0 kg”にします。



- 「安定」の表示が点灯していない場合は、一度電源を入れなおしてください。



9.4. 車いす測定

9.4.1. プリンタのラベル紙設定

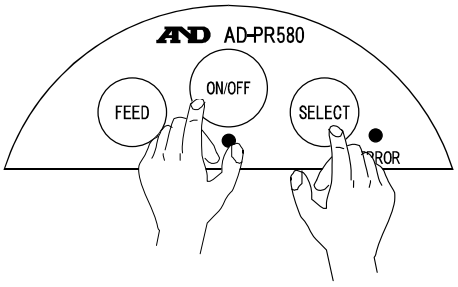
本機能を利用するためにオプションプリンタをご用意ください。

オプションプリンタ：AD-PR580

プリンタの取付けは「7.4. プリンタの準備」をご覧ください。

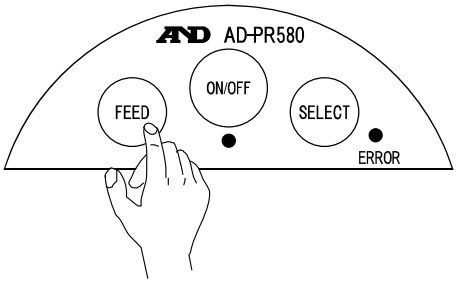
手順：

1. SELECT 押しながら ON/OFF を押します。



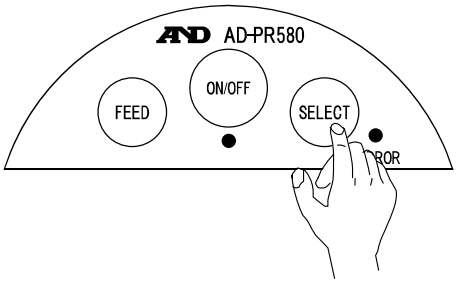

```
MODE CHANGE or FUNCTION SETTING
[ MODE CHANGE (SEL) / SETTING (FEED) ]

BL2-58S L AD
[ Ver2.55 ]
**********************************

---COMMON SETTING---
COMMAND MODE              = MODE A
PAPER FEED                = OFF
OFFLINE BUSY              = OFF
AUTO POWER OFF            = OFF
```

2. “MARK DETECTION = OFF”の印字が出るまで FEED を数回押します。



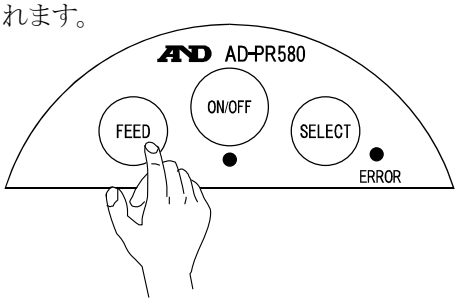

```
ENTER COMMON SETTING ?
[ NO (SELECT)       /     YES(FEED) ]
COMMAND MODE              = MODE A
PAPER FEED                = OFF
OFFLINE BUSY              = OFF
AUTO POWER OFF            = OFF
POWER SWITCH              = 1sec
SELECT SENSOR             = Reflection
MARK DETECTION            = OFF
```

3. SELECT を押すと、“MARK DETECTION = ON”が印字されます。



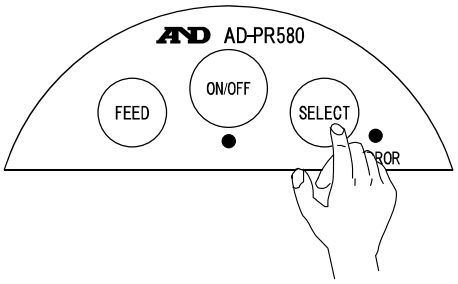

```
ENTER COMMON SETTING ?
[ NO (SELECT)       /     YES(FEED) ]
COMMAND MODE              = MODE A
PAPER FEED                = OFF
OFFLINE BUSY              = OFF
AUTO POWER OFF            = OFF
POWER SWITCH              = 1sec
SELECT SENSOR             = Reflection
MARK DETECTION            = OFF
MARK DETECTION            = ON
```

4. FEED を押すと、“MARK RE-DETECTION = OFF”が印字されます。



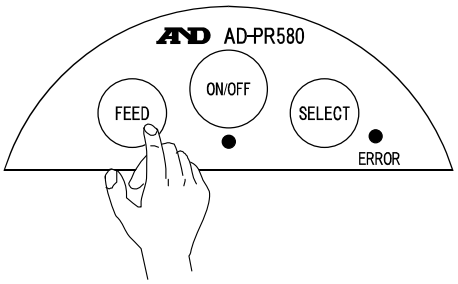

```
ENTER COMMON SETTING ?
[ NO (SELECT)        /     YES(FEED) ]
COMMAND MODE              = MODE A
PAPER FEED                = OFF
OFFLINE BUSY              = OFF
AUTO POWER OFF            = OFF
POWER SWITCH              = 1sec
SELECT SENSOR             = Reflection
MARK DETECTION            = OFF
MARK DETECTION            = ON
MARK RE-DETECTION         = OFF
```

5. SELECT を押すと、“MARK RE-DETECTION = ON”が印字されます。




```
ENTER COMMON SETTING ?
[ NO (SELECT)        /     YES(FEED) ]
COMMAND MODE              = MODE A
PAPER FEED                = OFF
OFFLINE BUSY              = OFF
AUTO POWER OFF            = OFF
POWER SWITCH              = 1sec
SELECT SENSOR             = Reflection
MARK DETECTION            = OFF
MARK DETECTION            = ON
MARK REDETECTION          = OFF
MARK RE-DETECTION         = ON
```

6. “ENTER INTERFACE SETTING ?”の印字が出るまで FEED を数回押します。




```
ENTER INTERFACE SETTING ?
[ NO (SELECT)        /     YES(FEED) ]

ENTER ADPR SETTING ?
[ NO (SELECT)        /     YES(FEED) ]



SETTING COMPLETE
SETTING MODE END
```

7. SELECT を２回押す。

8. “SETTING COMPLETE”、“SETTING MODE END”が印字されたら設定完了です。

9.4.2. 車いす測定

お知らせ

- 測定中は 車いす引 スイッチ、 衣服引 スイッチ、 ＋ スイッチ、－ スイッチは機能しません。
- 車いす測定時は通信フォーマットが下記の内容で固定されます。［F06］の設定は無視されます。

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
車いす	0x1D	0x6B	0x07	0x68	P	T	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	0x00

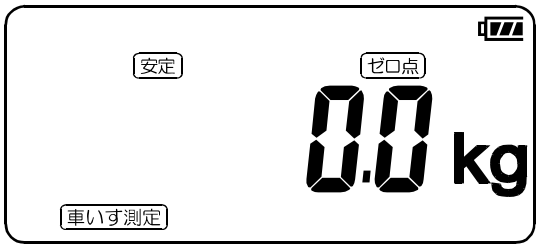
- 車いす測定時は出力タイミング［F21］または［F31］の設定は無視されます。ID や時計、風袋データは出力しません。
- 値が安定するとデータが一回だけ出力します。

本機能を利用するためにオプションのラベル紙をご用意ください。

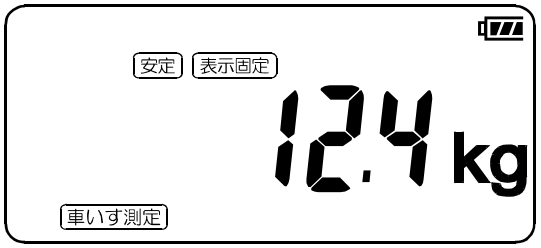
ラベル用紙：AX-PP179

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2. 電源の準備」参照。
2. 車いす引 スイッチを押しながら ON/OFF スイッチを押して車いす測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マーク、「車いす測定」マークが点灯します。

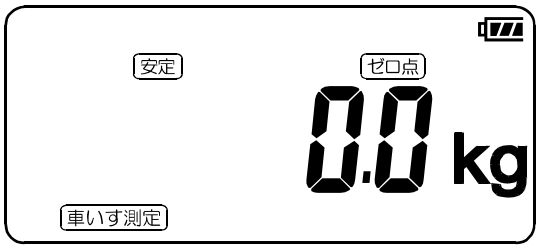


4. 車いすを計量台に載せて車いすの重さを測定します。



5. 安定すると車いすの重さをバーコード（Code128）で印字します。
   印字された紙は対象の車いすがわかるように管理してください。
   （例）印字した紙を車いすに貼り付ける等。

6. 測定が終了したら車いすを計量台から降ろします。



7. 測定しないときは、ON/OFF スイッチを押して測定 OFF にします。

9.4.3. バーコードによる車いす引き

本機能を利用するにはオプションのバーコードリーダをご用意ください。

バーコードリーダ：AD6108-2

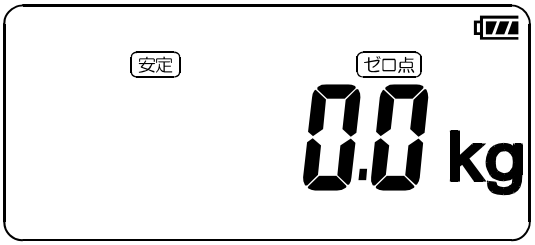
バーコードリーダの接続設定：通信電源出力設定あり、9600bps / パリティなし / データ 8bit

（例）表示器の拡張端子 1 に取り付けた場合は“F04-1”、“F22-2”、“F23-2”、“F25-1”に設定。

ファンクションの変更は「9.5. ファンクション設定」をごらんください

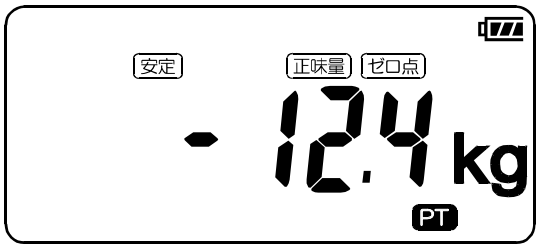
手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2. 電源の準備」参照。
2. ON/OFF スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0 kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。

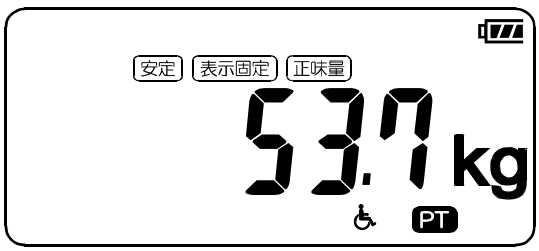


4. 測定する前に車いすの重さが印刷されたバーコードをバーコードリーダで読み取ります。
5. 読み取った車いすの重さが表示され（例：12.4 kg）、「PT」マークが点滅します。

6. しばらくすると車いす引き量が決定します。
「正味量」マークが点灯し、車いす引き量が引かれた測定ができます。



7. 計量台にのります。
8. 体重が安定すると、車いすの重さが差し引かれた体重が測定できます。



⚠ 注意	
	■ 車いす使用の際には、計量台に乗ったら必ず車いすのブレーキをかけて測定してください。測定中に車いすが移動し、けがをする恐れがあります。 ■ 測定を開始したら被測定者以外は体重計に触れないでください。測定誤差の原因になります。 ■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。 ■ バーコードリーダを本体から取り外して使用した場合、測定前に本体へ戻してください。計量誤差の原因になります。
	■ 計量台に乗るときには、車いすと手すりの間に手や足を挟まないように注意してください。

9. 計量台から降ります。
10. 連続して異なる車いすの重さを引きたい場合は、測定前にバーコードを読み取ってください。
11. 車いすの重さをキャンセルしたい場合は、計量台になにも載っていない状態でゼロスイッチを押してください。

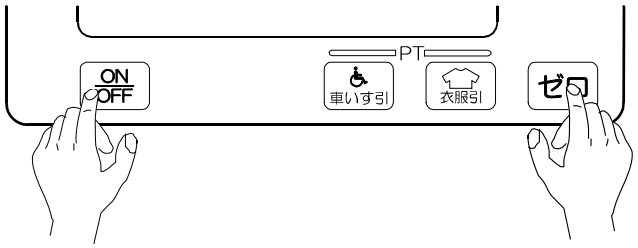
9.5. ファンクション設定

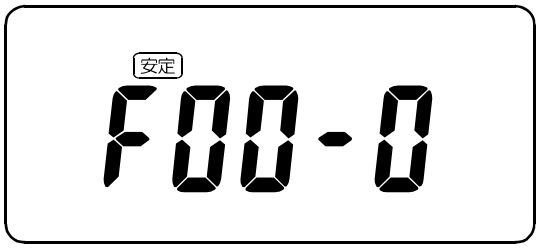
ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

9.5.1. ファンクション設定方法

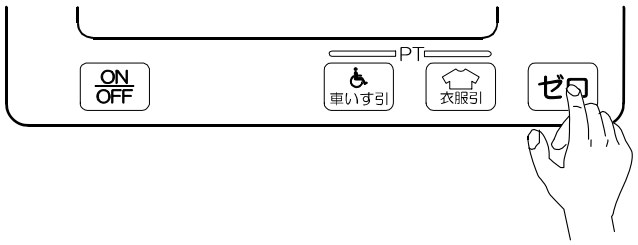
手順：

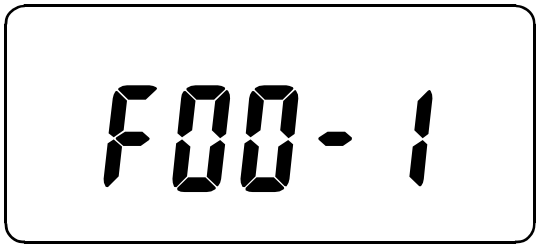
1. 測定 OFF の状態にします。
2. ゼロ スイッチを押した状態で、ON/OFF スイッチを押します。“F00-0”と表示されます。



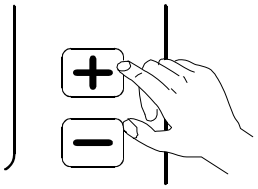


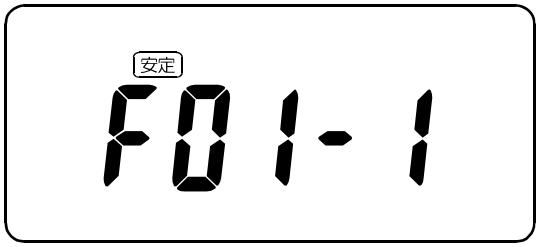
3. ゼロ スイッチを押すと設定が変更され、“F00-0”→“F00-1”と変わります。



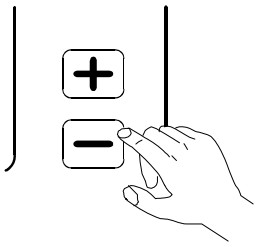


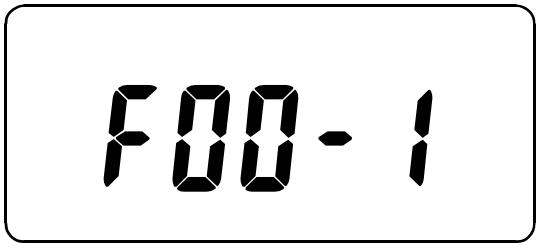
4. ＋ スイッチを押すと次の項目に進みます。



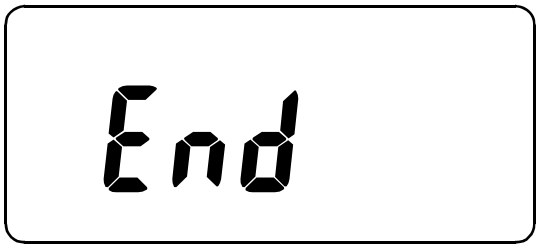


5. － スイッチを押すと前の項目に戻ります。





6. 上記の項目の設定が終わったら、ON/OFF スイッチを押します。“End”表示となり、設定が記憶されます。



9.5.2. ファンクション一覧

◆は初期設定を表します。
現在設定している設定の場合、「安定」マークが点灯します。

F00 はすべての項目を初期設定にします。
F20 は F21~F25 の項目を初期設定にします。
F30 は F31~F35 の項目を初期設定にします。

F00、F20、F30 は有効（1）を設定した場合、次回設定時は初期設定の無効（0）に戻ります。

項目	内容	設定値	設定内容
F00	イニシャル	◆ 0	無効
		1	有効
F01	オートパワーオフ	0	無し
		◆ 1	5 分
		2	10 分
		3	15 分
		4	30 分
F02	表示固定	0	無し
		1	有り　約 7 秒後に解除
		◆ 2	有り　±3 kg 変動で解除
		3	有り　±3 kg 変動の約 7 秒後に解除
F03	ブザー音	0	無し
		◆ 1	有り
F04	通信電源出力設定	◆ 0	無効
		1	拡張端子 1
		2	拡張端子 2
F06	通信フォーマット	0	A&D 一般
		◆ 1	標準プリンタ
		2	全自動血圧計
F20	拡張端子 1　通信初期化	◆ 0	無効
		1	有効
F21	拡張端子 1　出力タイミング	0	オート出力 A
		1	オート出力 B
		2	オート出力 C
		◆ 3	オート出力 D
		4	ストリーム
		5	出力なし
F22	拡張端子 1　ボーレート	◆ 0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 bps
F23	拡張端子 1　パリティ	◆ 0	偶数（EVEN）
		1	奇数（ODD）
		2	無し（NONE）
F24	拡張端子 1　終端	◆ 0	CRLF
		1	CR
		2	LF

項目	内容	設定値		設定内容
F25	拡張端子1　データ長	◆	0	7 bit
			1	8 bit
F30	拡張端子2　通信初期化	◆	0	無効
			1	有効
F31	拡張端子2　出力タイミング		0	オート出力A
			1	オート出力B
			2	オート出力C
		◆	3	オート出力D
			4	ストリーム
			5	出力なし
F32	拡張端子2　ボーレート	◆	0	2400 bps
			1	4800 bps
			2	9600 bps
F33	拡張端子2　パリティ		0	偶数（EVEN）
		◆	1	奇数（ODD）
			2	無し（NONE）
F35	拡張端子2　終端	◆	0	CRLF
			1	CR
			2	LF
F34	拡張端子2　データ長	◆	0	7 bit
			1	8 bit

10. 通信機能（RS-232Cインタフェース）

10.1. 標準RS232Cインタフェース

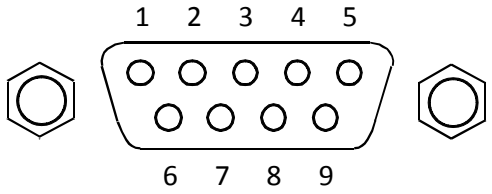
本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信タイミングの設定により、オート出力モード、ストリームモードが設定できます。
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。
通信タイミングと通信条件の設定は「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

1. インタフェース仕様

入出力規格	EIA RS232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式（全二重方式）	
通信形式	通信速度	2400、4800、9600 bps　選択可
	データビット長	7 ビット、8 ビット　選択可
	パリティ	無し（NONE）、偶数（EVEN）、奇数（ODD）選択可
	ストップビット	1 ビット
	使用コード	ASCII

2. ピン接続
コネクタ：D-sub9 ピン（オス）

ピン番号	信号	方向※	備考
1	CD	N.C.	
2	RXD	入力	
3	TXD	出力	
4	DTR	－	
5	SG	－	
6	DSR	N.C.	
7	TRS	出力	7 ピンと 8 ピンは内部で接続されています。
8	CTS	入力	
9	RI	出力.	電源出力



※本器からみた通信方法です。

通信ケーブルは接続する周辺機器に合わせて用意しております。「12. アクセサリ・オプションユニット」を参照してください。

3. 出力タイミング
出力タイミングは以下の 3 つがあります。
通信の出力内容は F21 および F31 の選択によって決定されます。
- 出力なし
  出力しません
- ストリームモード
  表示している値を常時出力します。出力されるデータは約 4 回／秒です。
  風袋データ、ID データ、時計データは出力しません
- オート出力モード
  値が安定するとデータが 1 回だけ表示している値が出力されます。
  風袋またはプリセット風袋が設定されている場合は同時に出力されます。
  ID データが入力されている場合は一度だけ ID データが同時に出力されます

項目	出力データ内容
オート出力モードA	測定データ
オート出力モードB	測定データ、ID データ
オート出力モードC	測定データ、時計データ
オート出力モードD	測定データ、時計データ、ID データ

4. 入力
出力タイミングがオート出力モードのときに「10.2. データフォーマット」に記載されているフォーマットでの入力が可能です。

10.2. データフォーマット

1. 出力データフォーマット

□ A&D 一般

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
体重安定(総量)	S	T	,	G	◆	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
体重安定(正味量)	S	T	,	N	◆	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
体重非安定(総量)	U	S	,	G	◆	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
体重非安定(正味量)	U	S	,	N	◆	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
表示範囲外(総量)	O	L	,	G	◆	,	±	9	9	9	9	9	9	.	9	◆	k	g	CR	LF
表示範囲外(正味量)	O	L	,	N	◆	,	±	9	9	9	9	9	9	.	9	◆	k	g	CR	LF
風袋	S	T	,	T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
プリセット風袋	S	T	,	P	T	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF

□ 標準プリンタ

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
体重安定	S	T	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
体重非安定	U	S	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
表示範囲外	O	L	,	±	9	9	9	9	9	9	.	9	◆	k	g	CR	LF
風袋	T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
プリセット風袋	P	T	,	+	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF		

□ 全自動血圧計

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
体重安定	S	T	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
体重非安定	U	S	,	±	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
表示範囲外	O	L	,	±	9	9	9	9	9	9	.	9	◆	k	g	CR	LF
風袋	T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF
プリセット風袋	P	T	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF

□ 車いす測定

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
車いす	0x1D	0x6B	0x07	0x68	P	T	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	0x00

◆：はスペース“0 x 20”を表しています。
CR、LF は終端記号です。設定による変更ができます。

□ 各共通

ID データ

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ID データ	I	D	,	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	CR	LF

時計データ

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	22
時刻	T	M	,	2	0	年	年	/	月	月	/	日	日	,	時	時	:	分	分	:	秒	秒	CR	LF

年は西暦で 2015～2099 になります。

時間は 24 時間表記です。

2. 入力データフォーマット

□ コマンド

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
プリセット風袋設定	P	T	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	CR	LF
ゼロ動作	Z	,	CR	LF							
データ出力	Q	,	CR	LF							
ID 出力	?	I	D	CR	LF						
時刻出力	?	T	M	CR	LF						

□ ID データ

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ID データ	I	D	,	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	CR	LF
	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	CR	LF			

ID データが英数字のみの場合

ID 番号が 16 桁のときはそのまま ID 番号として登録します。

ID 番号が 17 桁以上のときは下位 16 桁を ID 番号として登録します。

ID 番号が 15 桁以下のときは不足分を上位桁にスペースを追加して ID 番号として登録します。

11. 保守

11.1. 保守点検と安全管理

本器などの機器は必要時にそれの有する機能が十分に発揮され、しかも被測定者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。
本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。
当社では、1 年に 1 回以上の定期点検をお奨め致します。

11.2. 清掃

⚠注意	
❗	■ 清掃を行う際は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。
⃠	■ 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1 ヶ月に 1 回程度、以下のように行ってください。
・機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
・清掃するときは、水に薄めた中性洗剤または、消毒用アルコールを使用してください。
・血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

11.3. 定期点検

本器を正しくお使いいただくために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
定期点検については、当社にお問合せください。

11.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ 変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつ等はないか ■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	■ 計量台、手すりのガタつき、固定異常はないか ■ 足コマは4箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか ■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
接続ケーブル	■ 電源ケーブルの上に重いもの、車いす、本体等が載っていないか ■ 電源ケーブル・プラグは傷んでいないか ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか

11.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか
データ処理 （他PC等への接続の場合）	■ 正常に通信可能か ■ データに異常はないか
スイッチ・ボタン	■ スイッチボタン類の動作に異常はないか
表示部	■ 文字欠け等表示異常はないか

機器に異常がある場合は、点検にお出しください。
点検は、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

11.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

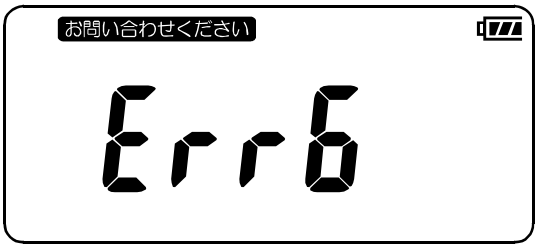
品　名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール、発泡スチロール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄、アルミニウム
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池
	乾電池	単 1 形アルカリ乾電池

11.5. 修理を依頼される前に

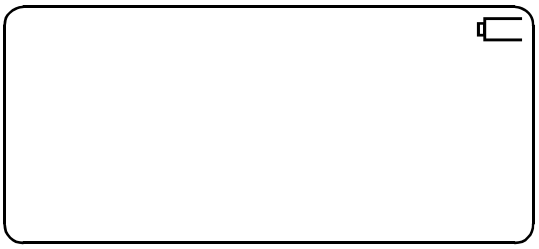
測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。
これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、当社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	・AC アダプタは正しく接続されていますか? ・乾電池が正しく入っていますか? ・乾電池が消耗していませんか? ・接続ケーブルは正しく接続されていますか?
“- - - - - -”を表示したまま変わらない。	・電源をいれるとき、計量台の上に何か載っていませんか? 約 20 kg 以上のものを載せて電源をいれると表示されます。載っているものを降ろしてください。
正しくはかれない	・計量台の下にものが入り込んでいませんか? ・計量台に壁やコードなどが接触していませんか? ・水平に設置されていますか?
測定範囲外と表示される。	・計量台に 201.6 kg を超えたものが載っているか、電源投入時に計量台に載っているものを下したとき表示されます。

以下のように“Err 番号”がでるときは、故障の可能性があります。表示される番号とともに当社 ME 機器相談センターにお問い合わせください。



以下の表示が出ているときは、乾電池が消耗しています。電池交換をしてください。



⚠注意	
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

12. アクセサリ・オプションユニット

品名	型名
専用 AC アダプタ	AX-TB230
専用 AC アダプタ（プリンタ用）	AS-BLS-120W
AS-BLS-120W 用 AC コード	AS-ACS-120A
プリンタ	AD-PR580
プリンタ用紙	AX-PP147-S
ラベル用紙	AX-PP179-S
プリンタオプション	AD-PR580-004
バーコードリーダ	AD6108-02
接続ケーブル	AX-KO1371-200

13. 重力加速度の大きさの範囲

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。
2 箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。
たとえば、愛知県の場合「9.800～9.796 m/s^2」または「9.798～9.794 m/s^2」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域（都道府県）
9.803～9.807 m/s^2	1	北海道
9.799～9.804 m/s^2	2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796～9.801 m/s^2	3	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9.794～9.799 m/s^2	4	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（全域）、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.789～9.794 m/s^2	5	鹿児島県（薩摩地方を除く）、沖縄県

14. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

14.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体..... ご購入より 12 ヶ月

14.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

14.3.製品に関するご質問・ご相談窓口

裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。